

適用範囲		型 式		Vc5
		質 量 kg		280
		取付可能機体質量（単位t）		3～5
区分	検査箇所	検査項目（条件）	単位	検査基準値
旋回装置	旋回 ベアリング	内輪ボルトサイズ	mm	14
		締付トルク	N・m	200
			kg・m	20
		外輪ボルトサイズ	mm	12
		締付トルク	N・m	120
			kg・m	12
油圧装置	開閉 シリンダ (図 1、2 参照)	伸縮量	mm/分	
		許容限度量	mm	30
		測定時間	分	3
圧砕・切断部	カッター部 (図 3、4 参照)	カッター部のすき間		
		基準すき間	mm	0.1～0.3
		許容限度すき間	mm	0.3
		摩耗限度	R	—
	圧砕ポイント (図 5 参照)	圧砕ポイントA		
		基準値	mm	10
		許容限度	mm	5
		圧砕ポイントB		
		基準寸法	mm	35
		許容限度	mm	30

適用範囲		型 式		Vc9
		質 量 kg		735
		取付可能機体質量（単位t）		6～9
区分	検査箇所	検査項目（条件）	単位	検査基準値
旋回装置	旋回 ベアリング	内輪ボルトサイズ	mm	14
		締付トルク	N・m	200
			kg・m	20
		外輪ボルトサイズ	mm	14
		締付トルク	N・m	200
			kg・m	20
油圧装置	開閉 シリンダ (図 1、2 参照)	伸縮量	mm/分	
		許容限度量	mm	50
		測定時間	分	3
圧砕・切断部	カッター部 (図 3、4 参照)	カッター部のすき間		
		基準すき間	mm	0.1～0.3
		許容限度すき間	mm	0.3
		摩耗限度	R	—
	圧砕ポイント (図 5 参照)	圧砕ポイントA		
		基準値	mm	65
		許容限度	mm	55
		圧砕ポイントB		
		基準寸法	mm	—
		許容限度	mm	—

適用範囲		型 式		Vc15
		質 量 kg		1, 200
		取付可能機体質量（単位t）		10～16
区分	検査箇所	検査項目（条件）	単位	検査基準値
旋回装置	旋回 ベアリング	内輪ボルトサイズ	mm	18
		締付トルク	N・m	420
			kg・m	43
		外輪ボルトサイズ	mm	18
		締付トルク	N・m	420
			kg・m	43
油圧装置	開閉 シリンダ (図 1、2 参照)	伸縮量	mm/分	
		許容限度量	mm	50
		測定時間	分	3
圧砕・切断部	カッター部 (図 3、4 参照)	カッター部のすき間		
		基準すき間	mm	0.1～0.3
		許容限度すき間	mm	0.3
		摩耗限度	R	—
	圧砕ポイント (図 5 参照)	圧砕ポイントA		
		基準値	mm	90
		許容限度	mm	75
		圧砕ポイントB		
		基準寸法	mm	120
		許容限度	mm	80
		圧砕ポイントC		
		基準寸法	mm	90
		許容限度	mm	75

適用範囲		型 式	Vc22	
		質 量 kg	2,250	
		取付可能機体質量 (単位t)	19～25	
区分	検査箇所	検査項目 (条件)	単位	検査基準値
旋回装置	旋回 ベアリング	内輪ボルトサイズ	mm	22
		締付トルク	N・m	840
			kg・m	86
		外輪ボルトサイズ	mm	22
		締付トルク	N・m	840
			kg・m	86
油圧装置	開閉 シリンダ (図 1、2 参照)	伸縮量	mm/分	
		許容限度量	mm	50
		測定時間	分	3
圧砕・切断部	カッター部 (図 3、4 参照)	カッター部のすき間		
		基準すき間	mm	0.1～0.3
		許容限度すき間	mm	0.3
		摩耗限度	R	—
	圧砕ポイント (図 5 参照)	圧砕ポイントA		
		基準値	mm	120
		許容限度	mm	105
		圧砕ポイントB		
		基準寸法	mm	155
		許容限度	mm	100
		圧砕ポイントC		
		基準寸法	mm	120
		許容限度	mm	105

II 型

適用範囲		型 式		Vc22
		質 量 kg		2,240
		取付可能機体質量 (単位t)		19～25
区分	検査箇所	検査項目 (条件)	単位	検査基準値
旋回装置	旋回 ベアリング	内輪ボルトサイズ	mm	22
		締付トルク	N・m	840
			kg・m	86
		外輪ボルトサイズ	mm	22
		締付トルク	N・m	840
			kg・m	86
油圧装置	開閉 シリンダ (図 1、2 参照)	伸縮量	mm/分	
		許容限度量	mm	50
		測定時間	分	3
圧砕・切断部	カッター部 (図 3、4 参照)	カッター部のすき間		
		基準すき間	mm	0.1～0.3
		許容限度すき間	mm	0.3
		摩耗限度	R	—
	圧砕ポイント (図 5 参照)	圧砕ポイントA		
		基準値	mm	120
		許容限度	mm	105
		圧砕ポイントB		
		基準寸法	mm	155
		許容限度	mm	100
		圧砕ポイントC		
		基準寸法	mm	120
		許容限度	mm	105

1. 開閉シリンダー伸縮量の測定

- ①測定具を地面から浮かせた状態で垂直に保持し、アームを全開状態（シリンダー収縮）で行う。
- ②ショベルのエンジンを停止してからホース内の残圧を抜いて、ストップバルブを閉じる。
- ③L寸法の測定を実施し、3分後に再度L寸法を測定し、その差を伸縮量とする

または、シリンダーロッドとシリンダパッキンとの境界部に印を付けておき、3分後に印とシリンダパッキンの距離を測定して伸縮量とする。

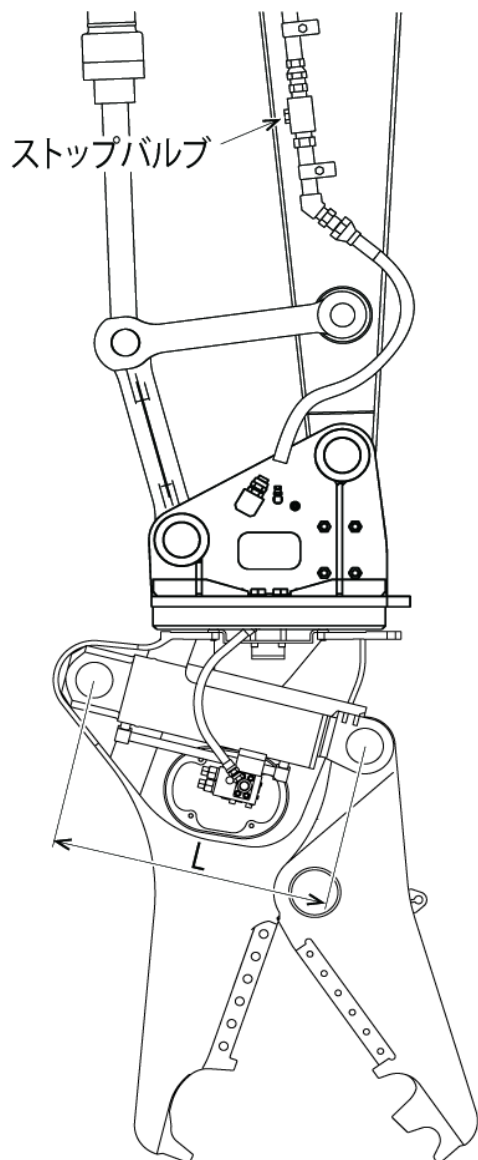


図1 開閉シリンダーの伸縮量測定

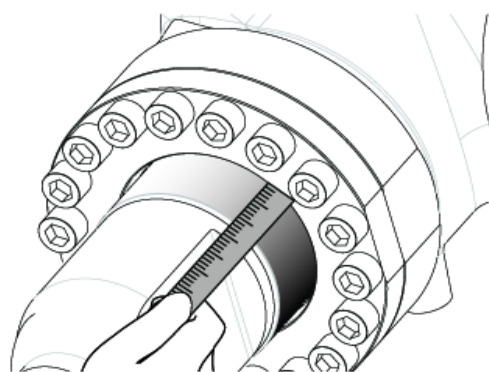


図2 シリンダーロッドの伸び量測定

2. カッターの隙間測定

- ①本体を水平に置きアーム全閉状態（シリンダー伸長）で測定する。
- ②隙間ゲージによりカッターのすき間を測定する。

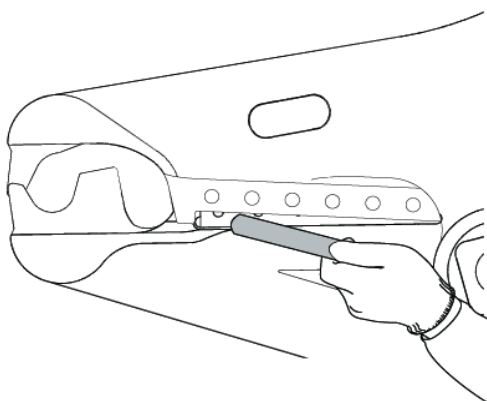


図3 カッターのすき間測定

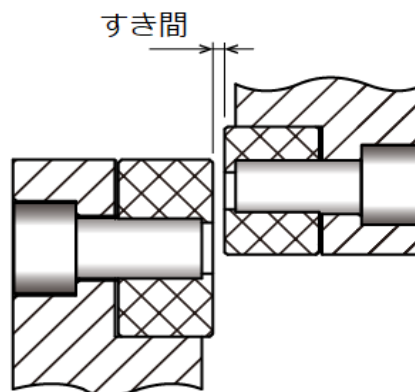
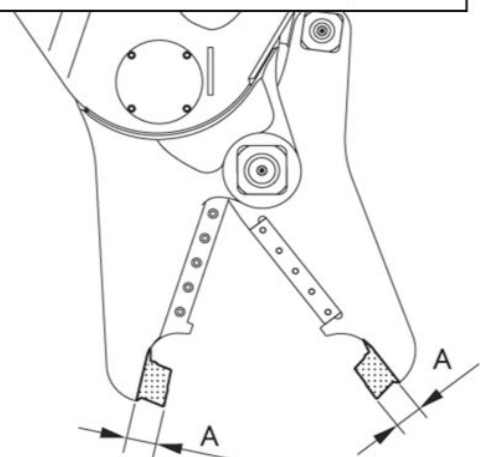
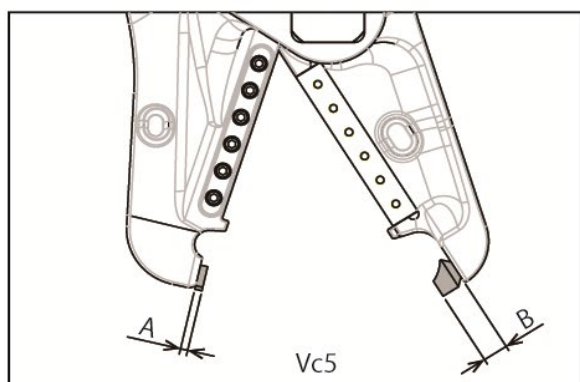


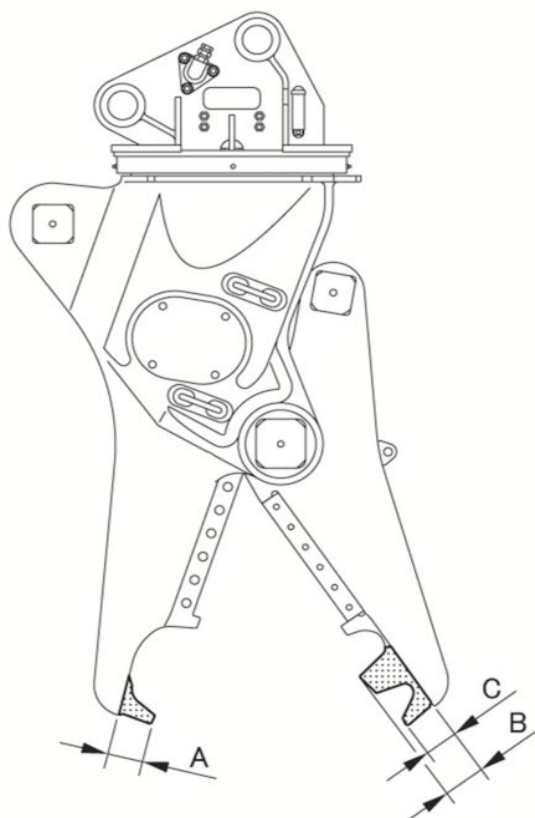
図4 カッターのすき間測定

3. 圧砕ポイントの測定

- ①圧砕ポイントのA～Cを測定する。



Vc9



Vc15, Vc22

図5 圧砕ポイントの測定